

注 意 報

農技セ第6518号
平成28年10月12日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成28年度農作物病虫害発生予察情報について

平成28年度農作物病虫害発生予察注意報第3号を公表したので送付します。

平成28年度病虫害発生予察注意報第3号

平成28年10月12日
徳 島 県

果樹カメムシ類について、9月第6半旬～10月第1半旬の勝浦町の予察灯調査では、ツヤアオカメムシとチャバネアオカメムシの誘殺数が、平年に比べて多く推移し被害も確認され、また、向こう1か月の平均気温は平年より高くなると見込まれていることから、今後も発生が増加し被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

農 物 名：果樹全般（特に、カンキツ類、カキ、キウイフルーツ）

病虫害名：果樹カメムシ類（主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県南部地域

2. 発生時期 10月中旬～

3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

(1) 勝浦町の予察灯における9月第6半旬～10月第1半旬の果樹カメムシ類の誘殺数は、ツヤアオカメムシが1,404頭、チャバネアオカメムシが622頭であり、平年（ツヤアオカメムシ180頭、チャバネアオカメムシ40頭）および前年（ツヤアオカメムシ17頭、チャバネアオカメムシ33頭）に比べて多い。

(2) 圃場における発生動向

県南部の山際の極早生温州ミカン園や熟期を向かえた柿園では、カメムシの飛来が多数確認され、実際に被害が認められた。

(3) 高松地方气象台が10月6日に発表した1か月予報では、天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ晴れの日が多いと見込まれている。平均気温は平年並か高く、降水量は平年並みか多いと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

5. 防除法等

(1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。

(2) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

(3) 飛来数が多い場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類が増加する場合があるので、ハダニ類の発生にも十分注意する。

(4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

予察灯へのツヤアオカメムシの誘殺数(勝浦町)

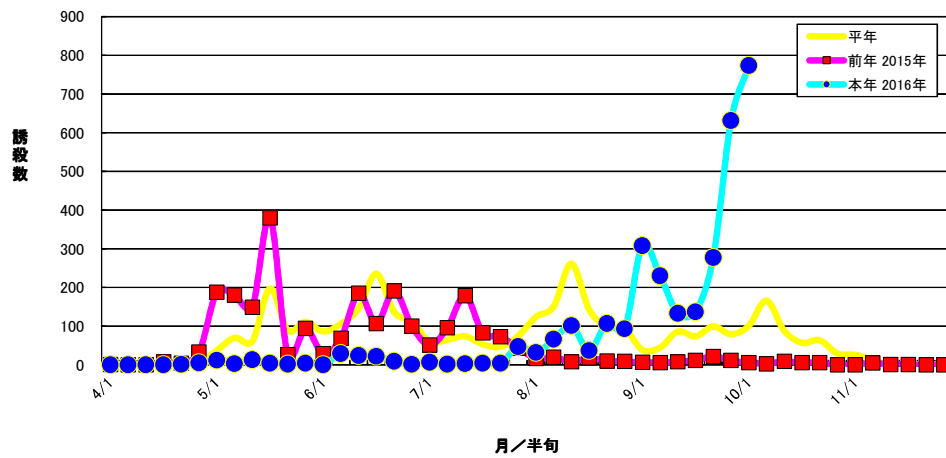


図1 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)

予察灯へのチャバネアオカメムシの誘殺数(勝浦町)

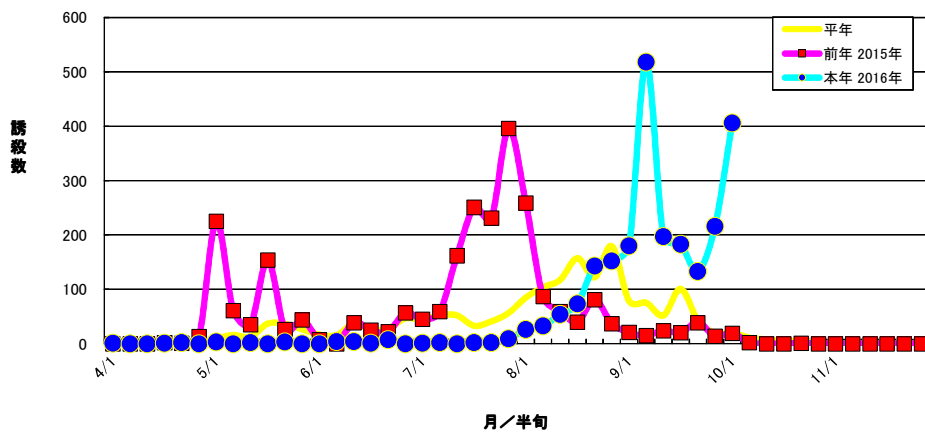


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長(勝浦町)



図3 ツヤアオカメムシ



図4 チャバネアオカメムシ